

ヤングケアラーの実態に関する調査報告書

令和3年9月

山梨県県民生活部

山梨県福祉保健部

山梨県子育て支援局

山梨県教育委員会

目次

第1編 児童・生徒

第1章 小・中学校児童生徒、高等学校生徒	1～22
----------------------	------

第2編 支援者

第1章 子どもの支援者

1-1 県内学校	1-1-1～22
1-2 要保護児童対策地域協議会	1-2-1～12
1-3 子どもの居場所運営者	1-3-1～13

第2章 家族の支援者

2-1 地域包括支援センター	2-1-1～10
2-2 生活困窮者自立支援相談員	2-2-1～9
2-3 生活保護ケースワーカー	2-3-1～9
2-4 障害者相談支援専門員	2-4-1～9
2-5 民生委員・児童委員	2-5-1～6
2-6 精神保健福祉士	2-6-1～8

ヤングケアラーの実態に関する調査報告書

第1編 児童・生徒

ヤングケアラーの実態に関する調査報告書

第1編 第1章

山梨県小・中学校児童生徒、高等学校生徒 編

令和3年9月

山梨県教育委員会

山梨県県民生活部

目次

1 小・中学生・高校生アンケート調査の実施概要

(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査方法	1
(4) 実施時期	1
(5) 回答状況	1

2 小・中学生・高校生アンケート調査結果

(1) 基本情報	2
(2) 学校生活について	2
(3) 家庭や家族のことについて	5
(4) ヤングケアラーについて	12

3 小・中学生・高校生アンケート調査 追加分析

(1) 家族の世話の有無と学校生活等の状況	14
(2) ヤングケアラーの自己認識による生活状況の違い	19

1. 小・中学生・高校生アンケート調査の実施概要

(1) 調査目的

支援が必要だと思われる児童生徒(ヤングケアラー)の状況を調査するとともに、今後それらを解決するために必要な支援策を検討するための基礎資料とする。併せて、児童生徒に対する「ヤングケアラー」周知の一環とする。

(2) 調査対象

- 県内国・公・私立小学校 6 年生(6,487 人)
- 県内国・公・私立中学校 1～3 年生(20,342 人)
- 県内公・私立高等学校全生徒(26,035 人)
 - ・公立高校[全日制 30 校 15,669 人、定時制 7 校 529 人、通信制 1 校 186 人]
 - ・私立高校[全日制 11 校 6,449 人、通信制 4 校 3,202 人]

(3) 調査方法

- 小・中学校においては、学校を通じて、児童生徒本人へ調査フォームの QR コードを記載した調査概要を配布。Web 上で回答、回収を実施。一部の学校において紙媒体によるアンケート調査に回答、学校で回収、集計。
- 高等学校においては、学校を通じて、生徒本人へ調査フォームの QR コード、URL を記載した調査概要を配布。Web 上で回答、回収を実施。

(4) 実施時期

- 小・中学校
令和 3 年 7 月 8 日(木)～令和 3 年 7 月 30 日(金)
- 高等学校
 - ・公立高等学校
令和 3 年 7 月 9 日(金)～令和 3 年 7 月 22 日(木)
 - ・私立高等学校
令和 3 年 7 月 12 日(月)～令和 3 年 7 月 30 日(金)

(5) 回答状況

- 県内国・公・私立小学校 6 年生 6,336 人 (回答率 97.7%)
- 県内国・公・私立中学校 1～3 年生 18,616 人 (回答率 91.5%)
- 県内公・私立高等学校 15,149 人 (回答率 58.2%)
 - ・公立高校[全日制 12,358 人(78.9%)、定時制 442 人(83.6%)、通信制 23 人(12.4%)]
 - ・私立高校[全日制 2,274 人(35.3%)、通信制 39 人(1.2%)]

※上記以外に課程不明の回答あり

2. 小・中学生・高校生アンケート調査結果

(1) 基本情報

- ① 同居家族(%) (複数回答) 調査数＝小 6,336 中 18,616 高 15,149

同居家族は、いずれの校種でも「母親」が最も高く、次いで「父親」、「兄・姉」または「弟・妹」となっている。

	母親	父親	祖母	祖父	兄・姉	弟・妹	その他	無回答
小学校	97.2	86.0	21.7	15.5	49.9	47.8	3.6	
中学校	96.9	84.9	22.4	14.6	47.0	48.4	4.4	
高校	94.4	82.1	21.4	13.8	34.7	47.7	5.6	0.7
全日制	94.8	82.8	21.5	14.0	34.7	47.8	5.4	0.6
定時制	85.5	63.8	20.1	9.5	37.3	48.0	10.6	0.7
通信制	88.7	62.9	16.1	9.7	35.5	33.9	12.9	0.0

- ② 健康状態(%) 調査数＝小 6,336 中 18,616 高 15,149

健康状態は、小中学生ともに「よい」が最も高くなっているが、中学生においては、「あまりよくない」「よくない」の回答が 7.6%である。高校生においては、全日制、定時制では「よい」が最も高くなっているが、通信制は「ふつう」が最も高くなっている。通信制は、「あまりよくない」、「よくない」が他に比べて高い。

	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
小学校	71.1	15.6	9.9	2.2	0.7	0.5
中学校	62.2	17.4	12.5	5.4	2.2	0.4
高校	63.9	18.3	14.1	2.8	0.5	0.4
全日制	64.5	18.3	13.8	2.6	0.4	0.2
定時制	48.6	19.5	22.6	6.6	2.5	0.2
通信制	29.0	12.9	40.3	54.8	6.5	0.0

(2) 学校生活について

- ① 学校への出席、遅刻・早退状況(%) 調査数＝小 6,336 中 18,616 高 15,149

いずれの校種でも、学校への欠席、遅刻・早退状況ともに、「ほとんどしない」が最も高くなっている。しかしながら、中学生では、欠席について「よくする」が 16.7%となっている。定時制・通信制高校生において、「たまにする」、「よくする」が全日制高校生に比べて高くなっている。

	欠席				遅刻・早退			
	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
小学校	81.1	9.6	8.8	0.5	88.4	9.5	1.1	1.0
中学校	73.4	9.7	16.7	0.3	87.1	10.5	2.0	0.5
高校	82.2	9.2	8.2	0.5	91.2	7.5	0.9	0.4
全日制	83.2	8.4	8.0	0.4	92.2	6.9	0.6	0.3
定時制	54.3	31.0	14.0	0.7	65.6	25.6	8.1	0.7
通信制	53.2	27.4	17.7	1.6	69.4	21.0	9.7	0.0

② 部活動への参加状況(%) 調査数＝中 18,616 高 15,149

部活動への参加状況は、中学生で約9割、全日制高校生で約8割以上が「参加している」が、定時制・通信制高校生では、「参加している」の割合が低くなっている。

	している	していない	無回答
中学校	91.9	6.9	1.2
高校	79.6	20.0	0.4
全日制	81.0	18.7	0.4
定時制	44.3	55.2	0.5
通信制	16.1	79.0	4.8

③ 普段の学校生活であてはまること(%) (複数回答) 調査数＝小 6,336 中 18,616 高 15,149

普段の学校生活等であてはまることについては、すべての校種で「特にない」が最も高くなっているが、その他では、小中学生で「持ち物の忘れ物が多い」が、中学生で「提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い」が高い。全日制・定時制高校生では、「授業中に居眠りすることが多い」が最も高い。定時制・通信制高校生では、「学校では1人で過ごすことが多い」、「友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」が全日制高校生に比べて高い。

	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
小学校	5.4	8.7	23.2	1.1	11.9	0.4	1.0	4.6	4.6	64.7	
中学校	13.7	13.3	22.4	6.8	21.3	0.7	1.4	5.6	5.9	54.1	
高校	29.8	10.9	8.1	2.9	9.5	0.5	0.6	5.3	5.1	56.5	1.5
全日制	30.1	10.8	8.0	2.8	9.5	0.5	0.6	5.0	4.9	56.6	1.5
定時制	20.8	12.2	10.6	5.2	12.0	1.4	1.6	11.8	12.0	55.4	0.9
通信制	11.3	12.9	4.8	4.8	14.5	6.5	4.8	30.6	17.7	50.0	1.6

④ 悩みや困りごとの内容(%) (複数回答) 調査数＝小 6,336 中 18,616 高 15,149

悩みや困りごとについては、中学生、通信制高校生の「ある」の割合が、他の校種、課程に比べて高い。悩みや困りごとの内容は、小中学生では、「学業成績のこと」が最も高く、次いで中学生では「進路のこと」が高い。高校では、いずれの課程においても、「進路のこと」が最も高い。

	ある	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと	塾(通信含む)や習い事ができないこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど)
小学校	32.5	14.0	15.1			3.5	1.8		3.9	2.9
中学校	66.5	16.5	42.8	39.4	12.8	1.8	1.8	2.8	5.3	2.7
高校	27.7	7.2	14.2	18.0	5.8	2.0	0.4	2.2	2.6	1.8
全日制	27.8	7.1	14.5	18.0	6.0	2.0	0.4	2.0	2.5	1.8
定時制	23.1	10.0	6.3	14.5	0.9	5.2	0.7	5.2	5.7	3.6
通信制	51.6	9.7	22.6	40.3	0.0	11.3	0.0	11.3	14.5	8.1

	病气や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特になし
小学校	0.9	2.6	2.0	68.4
中学校	1.1	4.4	1.9	33.7
高校	0.6	3.1	1.3	71.6
全日制	0.5	3.1	1.3	71.6
定時制	1.6	3.8	2.9	76.5
通信制	1.6	0.0	4.8	48.4

⑤ 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無(%)

何らかの悩みや困りごとがあると回答した人に、相談相手・話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、いずれの校種でも「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が高くなっている。定時制・通信制高校生では、「相談や話しはしたくない」が、全日制高校生に比べて高い。

	調査数(②で「ある」)	いる	いない	相談や話しはしたくない	無回答
小学校	3,247	76.0	5.8	18.3	
中学校	14,796	80.0	4.1	15.9	
高校	4,184	71.7	5.5	18.7	3.6
全日制	4,047	72.0	5.4	18.5	3.6
定時制	102	68.6	7.8	23.5	0.0
通信制	35	45.7	8.6	31.4	14.3

(3)家庭や家族のことについて

① 家族の中に世話をしている人がいるか。 調査数＝小 6,336 中 18,616 高 15,149

世話をしている家族がいると回答したのは、小学生が 5.8%、中学生が 8.1%、高校生が 3.6%(全日制 3.5%、定時制 6.8%、通信制 9.7%)である。

	いる		いない		無回答	
	人数	%	人数	%	人数	%
小学校	368	5.8	5943	93.8	25	0.4
中学校	1,517	8.1	16,930	90.9	169	0.9
高 校	552	3.6	14,304	94.4	293	1.9
全日制	516	3.5	13,839	94.6	277	1.9
定時制	30	6.8	405	91.6	7	1.6
通信制	6	9.7	56	90.3	0	0.0

② 世話を必要としている家族(複数回答) 調査数＝小 368 中 1,517 高 552

世話を必要としている家族については、全ての校種で「きょうだい」が最も高くなっている。

		母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
小学校	人数	40	16	43	19	148	24	78
	%	10.9	4.3	11.7	5.2	40.2	6.5	21.2
中学校	人数	200	84	175	106	513	91	348
	%	13.2	5.5	11.5	7.0	33.8	6.0	22.9
高 校	人数	41	26	73	56	119	25	275
	%	7.4	4.7	13.2	10.1	21.6	4.5	49.8

③ 世話を必要としている家族の状況(%) (複数回答)

世話をしている家族の状況は、すべての校種において、「祖父」「祖母」の「高齢(65歳以上)」、「きょうだい」の「若い」の割合が高い。

		調査数	高齢 (65歳以上)	若い	要介護		身体障がい				病気	その他
小学校	母親	40	10.0	12.5	5.0		2.5				12.5	15.0
	父親	16	25.0	12.5	0.0		0.0				0.0	6.3
	祖母	43	86.0	4.7	7.0		4.7				25.6	9.3
	祖父	19	89.5	0.0	15.8		21.1				26.3	0.0
	きょうだい	148	4.1	76.4	0.7		6.8				1.4	6.8
	その他	24	58.3	16.7	12.5		16.7				4.2	8.3

		調査数	高齢 (65歳以上)	若い	要介護	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患・依 存症以外の病 気	その他
中学校	母親	200	8.0	13.0	3.0	2.0	6.5	4.0	2.5	1.5	6.0	11.5
	父親	84	15.5	14.3	2.4	3.6	10.7	1.2	3.6	9.5	0.0	13.1
	祖母	175	86.3	1.1	9.1	11.4	4.6	1.1	0.6	1.1	5.1	5.1
	祖父	106	81.1	0.9	15.1	12.3	11.3	1.9	1.9	1.9	6.6	3.8
	きょうだい	513	0.8	81.1	0.6	0.2	2.5	6.0	1.4	0.0	1.9	5.5
	その他	91	26.4	25.3	3.3	5.5	3.3	1.1	1.1	0.0	3.3	19.8

		調査数	高齢 (65歳以上)	若い	要介護	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患・依 存症以外の病 気	その他
高校	母親	41	7.3		7.3	0.0	17.1	2.4	19.5	7.3	7.3	29.3
	父親	26	15.4		7.7	0.0	19.2	0.0	11.5	0.0	0.0	38.5
	祖母	73	79.5		28.8	30.1	9.6	2.7	5.5	0.0	0.0	11.0
	祖父	56	76.8		25.0	25.0	21.4	5.4	0.0	5.4	7.1	5.4
	きょうだい	119		69.7			7.6	19.3	4.2	0.0	0.8	7.6
	その他	29	20.7	6.9	6.9	3.4	6.9	17.2	3.4	0.0	0.0	10.3

④ 世話の内容(%) (複数回答)

すべての校種において、世話をしている家族が「母親」、「父親」の場合、世話の内容は「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が、「祖父」、「きょうだい」の場合は「見守り」が最も高くなっている。「祖母」の場合は、小学生では「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が、中学生・高校生では「見守り」が最も高くなっている。

	調査数	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	外出の付き添い(買い物、散歩など)	通院の付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	見守り	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	車の管理	その他	
小学校	母親	40	72.5	7.5	12.5	40.0	7.5	32.5	22.5	5.0	0.0	0.0	2.5
	父親	16	56.3	6.3	6.3	18.8	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0
	祖母	43	41.9	2.3	9.3	9.3	7.0	7.0	9.3	0.0	4.7	0.0	0.0
	祖父	19	26.3	10.5	10.5	26.3	21.1	26.3	63.2	10.5	5.3	5.3	5.3
	きょうだい	148	21.6	15.5	24.3	18.9	0.7	24.3	53.4	1.4	2.7	2.7	8.8
	その他	24	66.7	4.2	12.5	29.2	8.3	29.2	25.0	8.3	4.2	4.2	8.3

	調査数	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	外出の付き添い(買い物、散歩など)	通院の付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	見守り	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	車の管理	その他	
中学校	母親	200	82.0	14.5	5.5	25.5	3.0	13.5	25.5	5.0	1.5	3.5	3.0
	父親	84	56.0	11.9	4.8	26.2	2.4	10.7	29.8	3.6	2.4	1.2	3.6
	祖母	175	33.7	2.9	8.6	21.1	3.4	17.1	49.7	0.0	0.0	6.9	4.0
	祖父	106	21.7	3.8	8.5	13.2	3.8	17.9	52.8	0.0	0.9	8.5	6.6
	きょうだい	513	29.6	23.8	16.2	20.3	1.2	13.6	68.0	1.9	1.4	2.5	2.7
	その他	91	44.0	8.8	11.0	19.8	1.1	6.6	37.4	4.4	2.2	8.8	19.8

	調査数	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	外出の付き添い(買い物、散歩など)	通院の付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	見守り	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	車の管理	その他	
高校	母親	41	43.9		2.4	26.8	9.8	26.8	19.5	17.1	4.9	7.3	4.9
	父親	26	42.3		0.0	30.8	7.7	26.9	19.2	15.4	0.0	7.7	3.8
	祖母	73	38.4		11.0	32.9	8.2	26.0	60.3	2.7	2.7	4.1	2.7
	祖父	56	32.1		8.9	37.5	5.4	21.4	57.1	3.6	3.6	12.5	3.6
	きょうだい	119	37.0	27.7	16.8	22.7	0.8	10.1	68.1	1.7	3.4	1.7	5.9
	その他	29	55.2		34.5	34.5	3.4	20.7	48.3	0.0	3.4	3.4	13.8

⑤ 世話を一緒に行っている人(%) (複数回答) 調査数=小 368 中 1,517 高 552

すべての校種において、世話を一緒に行っている人は、「母親」が最も高く、次いで、「父親」、「きょうだい」となっている。一方で、「自分のみ」も1割程度いる。「福祉サービス(ヘルパーなど)」の利用は少なく、1割を下回っている。

	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス (ヘルパーなど)	その他	無回答
小学校	45.9	31.8	10.6	5.2	28.8	2.7	9.2	3.3	0.8	
中学校	45.1	31.6	10.5	4.7	26.2	3.2	9.4	2.6	1.1	
高校	49.5	32.4	12.3	6.2	29.0	5.1	10.0	8.0	8.3	33.5

⑥ 世話を始めた年齢(%) 調査数=小 368 中 1,517 高 552

世話を始めた年齢については、小中学生では「10～12歳」が最も高い。高校生では「13～15歳」が最も高く、次いで「10～12歳」となっている。小学生(高学年)から中学生にかけて世話を始めている人が多い。

	10歳未満	10～12歳	13～15歳	16～17歳	18歳以上・ その他	無回答
小学校	29.1	53.8				17.1
中学校	17.1	26.0	7.1			56.9
高校	6.7	16.3	20.7	5.8	1.1	49.3

⑦ 世話をしている頻度(%) 調査数=小 368 中 1,517 高 552

世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が最も高くなっている。

	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	月に数日	その他	無回答
小学校	29.9	13.3	13.0	7.3	1.6	34.8
中学校	27.8	12.7	13.4	8.8	0.9	36.4
高校	27.4	9.4	10.0	9.2	6.3	37.9

⑧ 1日あたりに世話に費やす時間(%) 調査数=小 368 中 1,517 高 552

1日あたりに世話に費やす時間については、平日、休日ともに、「3時間未満」が最も多い。平日、休日ともに「7時間以上」世話をしている人もわずかながらいる。

		1h未満	3h未満	3～7h未満	7h以上	無回答・その他
平日	小学校	12.0	19.0	9.0	4.9	55.2
	中学校	15.0	15.7	9.4	3.5	56.4
	高校	8.9	22.8	10.9	3.6	53.6
休日	小学校	7.6	19.6	7.3	7.1	58.4
	中学校	11.4	16.3	8.8	6.7	56.9
	高校	6.7	18.5	13.8	7.4	53.6

⑨ 世話をしているために、やりたいけれどできていないこと(%) (複数回答)

調査数=小 368 中 1,517 高 552

世話をしているために、やりたいけれどできていないこととして、「自分の時間がとれない」と回答したものが最も高くなっている。

	学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活動や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	その他	特になし
小学校	0.8	1.1	4.9	6.3	6.0	1.4		9.2	0.5	81.8
中学校	0.1	1.5	6.5	5.8	6.1	1.1	1.3	10.0	0.1	66.5
高校	0.9	0.4	4.9	4.5	6.3	0.9	1.6	9.1	0.2	52.5

⑩ 世話のきつさ(%) (複数回答) 調査数=小 368 中 1,517 高 552

世話をすることに感じているきつさについては、小学生では「身体的にきつい」、中学生・高校生では「精神的にきつい」が最も高くなっている。

	身体的	精神的	時間的余裕がない	感じていない
小学校	8.2	6.5	6.3	51.9
中学校	7.5	7.9	5.6	44.4
高校	2.9	8.3	6.0	50.7

⑪ 世話について相談した経験(%) 調査数=小 368 中 1,517 高 552

世話について相談した経験は、「ある」が1割強、「ない」が約5割～6割となっている。

	ある	ない	無回答
小学校	13.3	58.7	28.0
中学校	11.6	54.1	34.3
高校	13.9	48.4	37.7

⑫ 世話についての相談相手(%) (複数回答)

調査数=小 49 中 176 高 77(相談経験あり)

世話について相談経験があると回答した人のうち、相談相手は「家族(父、母、祖父、祖母、きょうだい)」が最も高く、次いで、「友人」となっている。

	家族(父、母、祖父、祖母、きょうだい)	親戚(おじ、おばなど)	友人	学校の先生 (保健室の先生以外)	保健室の先生	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	医師や看護師、その他病院の人	ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人	役所や保健センターの人	近所の人	SNS上での知り合い	その他
小学校	81.6	14.3	42.9	20.4	8.2	4.1	4.1	2.0	2.0	4.1	2.0	4.1
中学校	83.5	10.2	36.4	14.8	5.1	9.1	1.7	1.7	1.1	1.7	3.4	6.3
高校	61.0	18.2	55.8	13.0	10.4	7.8	3.9	3.9	5.2	1.3	6.5	6.5

⑬ 世話について相談したことがない理由(%) (複数回答)

調査数=小 216 中 820 高 267(相談経験なし)

世話について相談した経験がないと回答した人のうち、相談した経験がない理由は、「誰かに相談するほどの悩みではない」が最も高い。次いで、小中学生では「家族外の人に相談するような悩みではない」が、高校生では「相談しても状況が変わるとは思わない」が高い。

	誰かに相談するほどの悩みではない	家族外の人に相談するような悩みではない	誰に相談するのがよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のこのための話ににくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わるとは思わない	その他
小学校	65.7	13.4	7.4	3.2	8.8	5.1	4.6	10.6	8.3
中学校	66.8	10.4	5.5	1.7	3.4	2.8	2.6	7.9	9.3
高校	72.3	11.6	5.2	3.4	5.2	4.9	5.2	12.4	9.0

⑭ 世話について相談したことはないが、世話について話を聞いてくれる人の有無(%)

調査数=小 216 中 820 高 267(相談経験なし)

世話について相談した経験がない人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、6割~7割が「いる」と回答している。

	いる	いない	無回答
小学校	67.1	25.9	6.9
中学校	67.2	24.6	8.2
高校	64.0	28.1	7.9

⑮ 学校や大人に助けてほしいこと(%) (複数回答) 調査数=小 368 中 1,517 高 552

世話をしている家族がいると回答した人に聞いたところ、小中学生は、必要な支援として「自分の今の状況について話を聞いてほしい」、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」、「自由に使える時間がほしい」が高くなっている。高校生は、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」が最も高く、次いで「自由に使える時間がほしい」、「家庭への経済的な支援をしてほしい」が高くなっている。

	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話にのってほしい	家族の病気や遅がけ、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話をすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい	家庭への経済的な支援をしてほしい	わからない	その他	特になし
小学校	5.7	3.0	1.4	1.1	1.1	4.6	4.1	4.6	0.8	16.8	1.6	41.8
中学校	6.8	2.0	1.0	0.5	0.8	5.7	4.9	6.8	1.1	1.3	7.3	44.2
高校	3.1	0.9	0.7	1.1	0.9	3.3	3.6	2.9	3.3	1.3	0.9	50.7

⑯ どのような方法で話を聞いてほしい、相談に乗ってほしいか(%) (複数回答)

調査数=小 75 中 270 高 35(この間に回答した人)

どのような方法で聞いてほしい(相談にのってほしい)か聞いたところ、「直接会って」が最も高くなっている。小中学生は、次いで「電話」が、高校生は「SNS」が高くなっている。

	直接会って	電話	SNS	電子メール	その他
小学校	50.7	24.0	2.7	8.0	14.7
中学校	43.0	20.7	17.0	8.5	10.7
高校	45.7	14.3	25.7	20.0	17.1

(4) ヤングケアラーについて

① 自分は「ヤングケアラー」にあてはまると思うか(%)

調査数＝小 6,336 中 18,616 高 15,149

自分がヤングケアラーにあてはまると思うかについて聞いたところ、小中学生ともに1.4%、が、高校生では1.6%(全日制1.4%、定時制6.6%、通信制1.6%)が「あてはまる」と回答した。「わからない」と回答したのは小学生で10.7%、中学生で15.1%、高校生で10.9%であった。高校においては、全国調査同様、定時制、通信制で、「わからない」と回答した人が全日制に比べてやや高い傾向にある。

	あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答
小学校	1.4	87.3	10.7	0.6
中学校	1.4	82.4	15.1	1.1
高校	1.6	86.7	10.9	0.9
全日制	1.4	87.1	10.6	0.8
定時制	6.6	74.0	19.0	0.5
通信制	1.6	80.6	14.5	3.2

② 「ヤングケアラー」の認知度(%) 調査数＝小 6,336 中 18,616 高 15,149

ヤングケアラーの認知度については、「聞いたことがあり内容も知っている」と回答した人が小中学生で1割程度、高校生で2割程度おり、昨年度実施した全国調査に比べて認知度が上がっていると考えられる。また、「聞いたことはない」と回答した人は、小中学生では7割前後、高校生では5割強で全国調査に比べて割合が低い。

	聞いたことがあり 内容も知っている	聞いたことはある が、よく知らない	聞いたことはない	無回答
小学校	10.0	17.1	72.0	0.8
中学校	13.4	17.7	67.9	1.1
高校	19.9	23.9	55.3	0.9
全日制	20.1	23.9	55.0	0.9
定時制	11.5	23.1	65.2	0.2
通信制	25.8	17.7	54.8	0.0

③ 「ヤングケアラー」について知ったきっかけ(%) (複数回答)

調査数＝小 1,721 中 5,783 高 6,630(聞いたことあり)

②で、「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した人のうち、知ったきっかけは、小中学生では「テレビや新聞、ラジオ」が最も高く、次いで「学校」となっている。高校生では、「学校」が最も高く、次いで「テレビや新聞、ラジオ」となっている。

	調査数 (聞いたこと 「あり」)	テレビや新聞、ラジオ	雑誌や本	SNSやインターネット	広報やチラシ、掲示物	イベントや交流会など	学校	友人、知人から聞いた	その他	無回答
小学校	1,721	51.4	7.5	14.1	8.5	0.7	41.6	7.1	4.2	
中学校	5,783	51.5	9.8	18.9	8.6	0.8	43.4	5.3	3.1	
高 校	6,630	43.5	4.7	17.4	4.7	0.8	55.6	3.9	2.2	1.9
全日制	6,445	43.7	4.7	17.1	4.6	0.8	55.7	3.9	2.2	1.9
定時制	153	34.0	4.6	28.1	6.5	2.0	59.5	2.6	2.0	2.6
通信制	27	51.9	0.0	37.0	7.4	0.0	25.9	18.5	7.4	0.0

3. 小・中学生・高校生アンケート調査 追加分析

(1) 家族の世話の有無と学校生活等の状況 ※小・中学生の追加分析はWeb回答のみ対象(以降同様)

① 家族の世話の有無×欠席・遅刻・早退、部活動への参加

世話をしている家族がいる場合は、いない場合に比べて、欠席、遅刻・早退ともに「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっている。

中学生、高校生の部活動の参加については、世話をしている家族の有無だけでは参加割合に大きな変化はみられないが、中学生は、世話をしている家族がいて、かつ「やりたいことができていない」人について、また、高校生は、世話をしている家族がいて、かつ、「やりたいことができていない」、「世話にきつさを感じている」、「学校や大人に助けてほしいことがある」人については、参加率が低くなっている。

	調査数	欠席			遅刻・早退			部活動への参加	
		ほとんどしない	たまにする	よくする	ほとんどしない	たまにする	よくする	している	していない
小学校									
世話をしている家族はいない	3,674	79.7	8.9	11.1	89.4	9.1	0.9		
世話をしている家族がいる	315	73.0	12.7	14.3	84.1	14.0	1.9		
+やりたいけれどできていないことがある	60	73.3	18.3	8.3	73.3	21.7	5.0		
+世話にきつさを感じている	164	73.2	12.2	14.6	84.8	14.6	0.6		
+学校や大人に助けてほしいことがある	164	76.8	11.0	12.2	84.2	13.4	2.4		

	調査数	欠席			遅刻・早退			部活動への参加	
		ほとんどしない	たまにする	よくする	ほとんどしない	たまにする	よくする	している	していない
中学校									
世話をしている家族はいない	13,158	72.7	8.8	18.5	88.2	9.8	1.8	93.1	6.5
世話をしている家族がいる	1,354	66.2	14.0	19.8	83.6	13.4	2.7	92.1	7.5
+やりたいけれどできていないことがある	280	60.0	21.8	18.2	74.6	19.3	5.7	88.2	11.4
+世話にきつさを感じている	772	64.5	14.9	20.6	84.1	13.0	2.7	92.1	7.4
+学校や大人に助けてほしいことがある	761	64.8	15.4	19.8	84.4	13.1	2.4	91.3	8.2

	調査数	欠席			遅刻・早退			部活動への参加	
		ほとんどしない	たまにする	よくする	ほとんどしない	たまにする	よくする	している	していない
高校									
世話をしている家族はいない	14,304	82.9	9.1	8.2	92.0	7.4	0.9	80.0	20.2
世話をしている家族がいる	552	77.0	11.8	11.1	87.7	10.5	1.4	81.7	18.1
+やりたいけれどできていないことがある	72	70.8	12.5	16.7	83.3	11.1	5.6	76.4	23.6
+世話にきつさを感じている	64	67.2	14.1	18.8	79.7	14.1	6.3	71.9	28.1
+学校や大人に助けてほしいことがある	58	69.0	13.8	17.2	79.3	19.0	1.7	69.0	31.0

② 家族の世話の有無×学校生活等ではまるごと

世話をしている家族がいる場合は、いない場合に比べて、すべての項目において回答割合が高くなっている。特に、小中学生では「持ち物の忘れ物が多い」「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が高く、高校生では「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」、「宿題や課題ができていないことが多い」、「授業中に居眠りすることが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」が高くなっている。

また、世話をしている家族がいて、かつ、「やりたいことができていない」、「世話にきつさを感じている」、「学校や大人に助けてほしいことがある」人については、さらに回答割合が高い傾向がある。

	調査数	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
小学校										
	3,674	4.8	8.2	23.8		10.4	0.0	1.1	4.6	4.6
	315	8.6	12.4	33.3		16.5	0.0	2.5	8.9	7.9
	60	18.3	26.7	43.3		33.3	0.0	8.3	20.0	21.7
	164	7.3	14.0	32.3		17.7	0.0	3.7	9.8	6.7
	164	9.8	13.4	33.5		20.7	0.0	3.7	11.0	9.8
中学校										
	13,158	13.5	11.9	22.1	5.7	21.1	0.7	1.4	5.5	4.7
	1,354	16.4	19.4	30.0	9.5	27.5	0.7	2.1	7.4	5.9
	280	20.0	30.0	34.6	18.2	36.4	1.8	3.6	15.0	10.0
	772	17.1	18.9	28.7	8.9	27.2	0.5	2.2	8.6	6.9
	761	16.7	19.6	29.6	9.2	17.9	0.8	2.2	8.8	6.7
高校										
	14,304	29.8	10.7	10.2	2.8	9.4	0.5	0.6	5.6	5.1
	552	33.2	15.9	14.3	4.5	15.2	1.1	0.9	6.7	6.3
	72	36.1	27.8	20.8	6.9	27.8	4.2	2.8	11.1	5.6
	64	37.5	29.7	21.9	7.8	28.1	3.1	1.6	10.9	7.8
	58	31.0	19.0	19.0	13.8	24.1	3.4	1.7	13.8	13.8

③ 家族の世話の有無×悩みや困りごとの有無

すべての校種において、世話をしている家族がいる場合は、いない場合に比べて、悩みや困りごとがあると回答した割合が高くなっている。小中学生では、世話をしている家族がいて、かつ、「やりたいことができていない」人、高校生では、世話をしている家族がいて、かつ、「やりたいことができていない」、「世話にきつきさを感じている」、「学校や大人に助けてほしいことがある」人は、さらにその割合が高い傾向がある。

小学校		調査数	ある	ない
	世話をしている家族はいない	3,674	32.4	67.6
世話をしている家族がいる	315	52.1	47.9	
+やりたいけれどできていないことがある	60	80.0	20.0	
+世話にきつきさを感じている	164	47.0	53.0	
+学校や大人に助けてほしいことがある	164	51.8	48.2	

中学校		調査数	ある	ない
	世話をしている家族はいない	13,158	69.1	30.9
世話をしている家族がいる	1,354	74.3	25.7	
+やりたいけれどできていないことがある	280	89.6	10.4	
+世話にきつきさを感じている	772	75.6	24.4	
+学校や大人に助けてほしいことがある	761	74.4	25.6	

高校		調査数	ある	ない
	世話をしている家族はいない	14,304	27.6	72.4
世話をしている家族がいる	552	42.6	57.1	
+やりたいけれどできていないことがある	72	68.1	31.9	
+世話にきつきさを感じている	64	68.8	31.3	
+学校や大人に助けてほしいことがある	58	87.9	12.1	

④ 家族の世話の有無×現在の悩みや困りごと

小中学生では、世話をしている家族がいる場合といない場合では、その割合の差は大きくはない。高校生では、世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、多くの項目において回答割合が高くなっている。特に、「家庭の経済的状況のこと」、「病気や障害のある家族のこと」、「自分と家族との関係のこと」が高くなっている。

また、中学生、高校生では、世話をしている家族がいて、かつ、「やりたいことができていない」、「世話にきつさを感じている」、「学校や大人に助けてほしいことがある」人については、ほぼ全ての項目においてさらにその割合が高い傾向がある。

	調査数	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事ができないこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	
小学校	世話をしている家族はいない	1,189	44.9	50.4		10.0	5.2		10.9	8.8	2.1	6.6	
	世話をしている家族がいる	164	37.8	48.8		9.8	10.4		10.4	8.5	5.5	16.5	
	+やりたいけれどできていないことがある	48	43.8	41.7		12.5	14.6		16.7	20.8	12.5	31.3	
	+世話にきつさを感じている	77	37.7	44.2		7.8	13.0		10.4	5.2	6.5	18.2	
	+学校や大人に助けてほしいことがある	85	44.7	44.7		8.2	15.3		12.9	9.4	5.9	16.5	
中学校	世話をしている家族はいない	9,096	24.4	65.4	60.1	19.5	2.2	2.3	3.8	7.4	3.4	1.2	6.2
	世話をしている家族がいる	1,006	26.6	64.7	56.7	20.7	4.5	5.1	7.5	11.5	5.4	4.6	9.9
	+やりたいけれどできていないことがある	251	34.3	67.7	52.6	24.7	8.4	9.2	14.3	22.3	10.0	8.0	19.9
	+世話にきつさを感じている	566	27.9	64.7	56.2	21.9	4.8	6.0	9.0	13.3	6.7	5.1	12.5
	+学校や大人に助けてほしいことがある	565	28.5	66.4	58.9	22.0	5.5	5.8	9.4	12.6	6.2	5.0	11.2
高校	世話をしている家族はいない	3,946	25.4	51.3	65.1	21.4	6.9	1.2	7.2	8.8	6.1	1.5	11.0
	世話をしている家族がいる	235	34.5	52.3	59.6	16.6	15.3	3.0	17.9	18.7	14.9	11.9	14.5
	+やりたいけれどできていないことがある	49	44.9	57.1	59.2	16.3	28.6	6.1	32.7	40.8	26.5	32.7	32.7
	+世話にきつさを感じている	44	45.5	59.1	61.4	18.2	43.2	6.8	45.5	52.3	38.6	36.4	31.8
	+学校や大人に助けてほしいことがある	51	41.2	58.8	64.7	13.7	31.4	5.9	43.1	41.2	29.4	21.6	19.6

⑤ 家族の世話の有無×相談相手の有無

すべての校種において、世話をしている家族がいる場合といない場合で、相談相手の有無に大きな違いは見られない。しかし、中学生で、世話をしている家族がいて、かつ、「やりたいことができていない」人、また、高校生で、世話をしている家族がいて、かつ、「やりたいことができていない」、「世話にきつさを感じている」、「学校や大人に助けてほしいことがある」人については、相談相手がいないと回答した人の割合が高くなっている。

		調査数	いる	いない	相談や話はしたくない
小学校	世話をしている家族はいない	1,189	67.8	7.7	23.1
	世話をしている家族がいる	164	70.1	5.5	23.8
	+やりたいけれどできていないことがある	48	60.4	12.5	27.1
	+世話にきつさを感じている	77	70.1	2.6	26.0
	+学校や大人に助けてほしいことがある	85	68.2	5.9	24.7

		調査数	いる	いない	相談や話はしたくない
中学校	世話をしている家族はいない	9,096	77.6	4.2	17.3
	世話をしている家族がいる	1,006	76.2	5.2	17.8
	+やりたいけれどできていないことがある	251	66.5	8.4	23.5
	+世話にきつさを感じている	566	73.0	5.8	20.0
	+学校や大人に助けてほしいことがある	565	73.1	6.7	19.3

		調査数	いる	いない	相談や話はしたくない
高校	世話をしている家族はいない	3,946	66.9	5.4	18.0
	世話をしている家族がいる	235	65.1	6.8	18.7
	+やりたいけれどできていないことがある	49	51.0	14.3	24.5
	+世話にきつさを感じている	44	68.2	13.6	18.2
	+学校や大人に助けてほしいことがある	51	49.0	17.6	11.8

(2) ヤングケアラーの自己認識による生活状況の違い

① ヤングケアラーの自己認識×欠席・遅刻・早退、部活動への参加

すべての校種において、ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、欠席、遅刻・早退ともに「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっている。

部活動の参加については、中学生では、「あてはまる」「あてはまらない」場合の参加率は、ほぼ変わらないが、高校生では、ヤングケアラーに「あてはまる」と回答した場合の参加率は、「あてはまらない」と回答した場合より低くなっている。

		調査数	欠席			遅刻・早退			部活動への参加	
			ほとんどしない	たまにする	よくする	ほとんどしない	たまにする	よくする	している	していない
小学校	あてはまる	78	74.4	14.1	11.5	78.2	17.9	3.8		
	あてはまらない	3,477	80.1	8.6	11.0	89.8	8.6	0.9		
	わからない	418	72.5	13.6	13.6	83.5	15.3	1.0		

		調査数	欠席			遅刻・早退			部活動への参加	
			ほとんどしない	たまにする	よくする	ほとんどしない	たまにする	よくする	している	していない
中学校	あてはまる	226	65.9	16.4	17.7	81.0	15.5	3.1	92.5	6.6
	あてはまらない	12,364	73.0	8.6	18.4	88.7	9.4	1.6	93.5	6.2
	わからない	1,884	66.9	12.9	20.0	82.3	13.8	3.2	89.9	9.3

		調査数	欠席			遅刻・早退			部活動への参加	
			ほとんどしない	たまにする	よくする	ほとんどしない	たまにする	よくする	している	していない
高校	あてはまる	213	76.8	11.4	11.0	87.3	10.5	1.7	74.7	25.3
	あてはまらない	11,352	83.0	8.9	7.9	91.9	7.2	0.8	79.9	19.9
	わからない	1,223	78.1	11.4	10.1	88.1	10.1	1.5	79.7	20.0

② ヤングケアラーの自己認識×学校生活等であてはまること

小学生、中学生、高校生ともに、ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、ほぼ全ての項目において回答割合が高くなっている。特に、「宿題や課題ができていないことが多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「授業中に居眠りすることが多い」が高くなっている。

小学校		調査数	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
	あてはまる	78	12.8	12.8	35.9		19.2	0.0	3.8	7.7	10.3
	あてはまらない	3,477	4.3	7.4	23.4		9.9	0.4	1.1	4.3	4.1
	わからない	418	10.0	16.5	32.5		17.0	0.5	1.2	9.1	10.0

中学校		調査数	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
	あてはまる	226	14.6	15.9	27.4	9.3	29.2	0.4	4.0	7.1	5.3
	あてはまらない	12,364	13.0	11.3	21.4	5.5	20.1	0.6	1.2	5.3	4.6
	わからない	1,884	18.6	21.0	31.3	8.9	31.1	1.2	2.9	7.8	6.4

高校		調査数	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れること	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
	あてはまる	213	32.5	15.2	12.7	3.8	13.1	0.8	0.8	8.0	5.9
	あてはまらない	11,352	29.7	10.5	10.0	2.7	9.1	0.4	0.5	5.3	5.1
	わからない	1,223	30.6	12.9	11.8	4.2	11.7	1.0	1.8	7.3	5.5

③ ヤングケアラーの自己認識×悩みや困りごとの有無

中学生、高校生は、ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、悩みや困りごとがあると回答した割合が高くなっている。

小学校		調査数	ある	ない
	あてはまる	78	4.5	79.5
	あてはまらない	3,477	6.7	69.0
	わからない	418	11.9	61.1

中学校		調査数	ある	ない
	あてはまる	226	74.3	25.7
	あてはまらない	12,364	68.7	31.3
	わからない	1,884	74.9	25.1

高校		調査数	ある	ない
	あてはまる	213	36.3	63.3
	あてはまらない	11,352	27.0	72.6
	わからない	1,223	31.8	67.4

④ ヤングケアラーの自己認識×現在の悩みや困りごと

小学生は、ヤングケアラーかどうかに対して、「あてはまる」「あてはまらない」と回答した場合の割合はほぼ同様だが、中学生、高校生では、「あてはまる」と回答した場合は、「あてはまらない」、「わからない」と回答した場合に比べ、「自分と家族との関係のこと」、「家庭の経済的状況のこと」、「病気や障がいのある家族のこと」、「学費など学校生活に必要なお金のこと」などの割合が高くなっている。高校生は、加えて、「家族内の人間関係のこと」の割合も高くなっている。

小学校	調査数	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事ができないこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと
あてはまる	44	43.2	45.5			6.8	4.5		4.5	4.5	6.8	18.2
あてはまらない	1,076	44.1	49.3			9.9	5.3		10.1	8.1	1.8	6.1
わからない	226	43.8	54.9			11.1	8.4		15.9	12.8	5.3	14.2

中学校	調査数	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事ができないこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと
あてはまる	168	31.0	65.5	57.7	19.6	6.0	7.7	9.5	11.9	3.0	5.4	11.9
あてはまらない	8,499	23.8	65.5	60.0	19.1	1.9	2.0	3.4	6.6	3.0	1.0	5.6
わからない	1,411	28.8	64.4	58.5	22.7	5.3	4.8	8.0	14.9	6.9	4.4	11.9

高校	調査数	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事ができないこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと
あてはまる	69	39.5	45.3	66.3	14.0	16.3	3.5	19.8	24.4	22.1	11.6	11.6
あてはまらない	2,458	25.2	50.8	65.4	20.8	6.7	1.0	6.5	7.8	5.2	1.2	10.3
わからない	277	28.4	53.8	59.4	23.7	9.9	2.7	13.4	15.5	13.5	5.7	15.3

⑤ ヤングケアラーの自己認識×相談相手の有無

ヤングケアラーの自己認識による相談相手の有無には大きな違いは見られないものの、「あてはまる」と回答し、かつ、「相談や話はしたくない」人が一定数いる。

小学校	調査数	いる	いない	相談や話はしたくない
あてはまる	44	79.5	4.5	15.9
あてはまらない	1,076	69.0	6.7	23.0
わからない	226	61.1	11.9	26.1

中学校	調査数	いる	いない	相談や話はしたくない
あてはまる	168	66.7	7.7	23.2
あてはまらない	8,499	79.0	3.8	16.3
わからない	1,411	69.3	6.9	22.9

高校	調査数	いる	いない	相談や話はしたくない
あてはまる	69	67.4	8.1	12.8
あてはまらない	2,458	68.6	5.1	17.7
わからない	277	53.4	6.7	19.5

【問い合わせ】

山梨県教育庁義務教育課(教育指導担当) 055-223-1764

(しなやかな心の育成担当) 055-223-1789

山梨県教育庁高校教育課(指導担当) 055-223-1769

山梨県県民生活部私学・科学振興課 055-223-1312